

まあまあ 遠いところから来てくれて。
ここは なーんもないけど いいとこだに。
ゆっくりしてってな。

長野県下伊那郡 売木村 うるぎむら

村を訪れると、よくこのような声をかけられます。
売木村の人々は言うのです、「ここは何もないところ」と。
確かに、ショッピングモールや映画館、おしゃれなカフェやレストランはありません。
それよりもっと豊かな空間と時間が、ここにはたっぷりとあります。



南信州の宝石箱

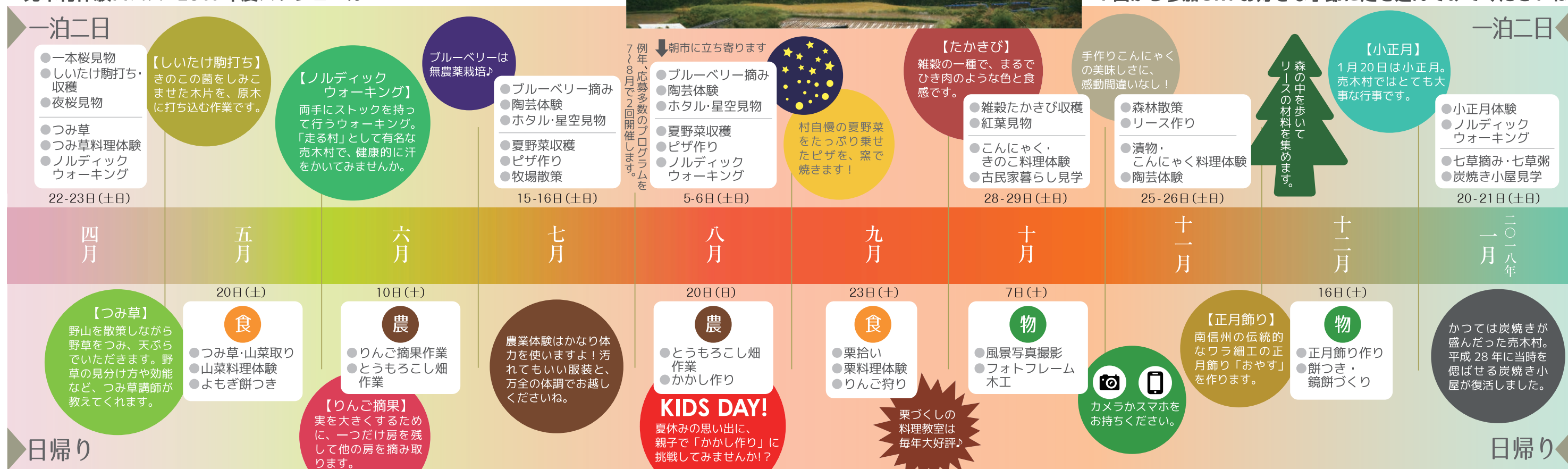
売木村(うるぎむら)は長野県南端、愛知県境の山村です。「売木」の名前は、古来より良質な木材の産地であったことに由来します。江戸時代には米の年貢ではなく材木(樽木…くれき)を献上していました。3つの峠に囲まれて、つい最近まで険しい山道を通らないとたどり着けなかった村です。しかしそこを超えてしまえば平坦な盆地となり、周辺地域の切り立った山並みとは全く違う、のどかな田園風景が広がります。山々に囲まれ守られてきた土地です。峠の途上から売木村を見下ろした人は「ここは南信州の宝石箱だ」と例えます。



うるわしき、うるぎの四季

売木村は軽井沢とほぼ同じ標高と気候です。標高 800m は美味しい農作物ができる境界とされています。中でも、手間のかかる天日干しにこだわった薫り高い「うるぎ米」と、甘くてジューシーなとうもろこし、トマト、ミョウガには定評があります。遅い春には各所で一本桜が咲き誇り、夏には爽やかな高原の風が吹き、秋には山々があでやかな紅葉の錦をまとい、冬は一面の雪化粧と静寂が訪れます。そして特筆すべきは、古くから受け継がれてきた山里風景。なだらかな傾斜に連なる田畑は、日本の田舎風景をよく知る目の肥えた旅行マニアほど絶賛するほどのもの。一年を通して、目にも舌にもうるわしき売木村なのです。

< 売木村体験ロハス -2017年度スケジュール>



「売木村体験ロハス」とは
ふるさとの原風景の中で 四季を感じ
村と村民の魅力に触れるイベントです。
この風土に寄り添い暮らす村民が体験プログラムの講師です。



Lifestyles of Health and Sustainability【健康で(環境保護が)持続可能な生活様式】 売木村体験ロハス …「LOHAS」に込めた想い

「健康で持続可能な生活様式」の略語であるLOHASは、1990年代後半にアメリカ中西部で環境問題に関心を持つ人々から生まれた言葉であり、今や一般的に使われるようになりました。海外で生まれた概念ですが、売木村ロハス運営チームでは日本古来の山里にこそ「LOHAS」があると考えています。田畑と森林に人が適度に手を加えることで生物多様性を維持し、自然環境と共存してきた歴史は世界から注目されつつあります。そして、さらに注目すべきは売木村のお年寄りが本当に元気いっぱいであること。都会からやってくる人々は、現役ではつらつと農作業をこなすお年寄りと出会って驚きます。自然のサイクルの中で健康的に年を重ねる生き方から学ぶべきことはたくさんあります。この古くて新しい山里のライフスタイルを多くの人に知ってもらいたい。未来への答えがたくさん詰まっている売木村へ足を運んでほしい。「売木村体験ロハス」にはそんな想いが込められています。

手作りイベントなのです

売木村体験ロハスは、村が大好きで移住したIターン者のスタッフと、10年以上も村に通い続ける売木村ファンが手作りイベントとして運営しています。旅行会社のようなおもてなしはできないかもしれませんが、でも、一生懸命に心を込めて売木村の「素敵」を紹介させていただきます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

記載のプログラムは2017年2月現在予定のものです。天候や農作物の出来によって内容が大幅に変更になる場合があります。お申込みいただいた方には事前にご案内をお送りします。そちらで内容の再確認をお願いいたします。

興味のあるプログラムを自由にお選びいただけます。
1回から参加OK! お好きな季節に足を運んでみてくださいね。